

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画又は地域公共交通計画に基づく事業)

令和7年1月23日

協議会名:丸亀市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
丸亀市	<p>本島コミュニティバス 本島港～笠島～本島港</p> <p>計画運行日数 366日 計画運行回数 1,830回</p>	<p>&lt;前回の評価結果の概要&gt; バリアフリーに配慮した車両の導入や島民の生活にあったダイヤの設定について検討する。また、収支率向上のため情報発信を行い来訪者の利用促進を図る。</p> <p>&lt;評価結果の反映状況&gt; ・ノンステップバスの導入を検討したが、現在のルートや車庫では対応できないサイズであったため導入まで至らなかった。 ・島民との意見交換を行い、JA本島出張所前にバス停を新設した。また、航路との接続以外にも島内での移動に配慮したダイヤ設定を行い、1日5便から6便に増便し、運行ルートに関しては本島市民センター(診療所)バス停を1便あたり2回通過するよう変更し利便性の向上を図った。(令和6年10月～) ・Google Mapでの路線検索で英語表記を追加し、来訪者の利便性向上を図った。(令和5年5月～)。 ・75歳以上の高齢者、毎月20日の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った。(令和5年6月～)。 ・航路との接続に配慮したダイヤとしている。</p>	A 計画通り事業は適切に実施された。	<p>【目標達成率】116% (目標:3,650人/年) 【利用者数】4,234人/年 (対前年比:90.3%) (対前々年比:140.8%) 【1便あたり利用者数】2.3人 【収支率】2.7% 経常収益329千円 経常費用12,007千円 (対前年比-2.0%) 経常収益412千円 経常費用8,696千円 (対前々年比-2.3%) 経常収益404千円 経常費用8,142千円</p> <p>利用者数については瀬戸内国際芸術祭が開催された前年より減少したが、運賃無料キャンペーンの実施により目標利用者数を達成することができた。収支率についてはバス待合所の修繕費がかかったため前年、前々年より下がった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続きバリアフリーに配慮した車両の導入について利用状況や利用者の意見を踏まえ検討する。</li> <li>引き続き収支率向上に向け、ホームページやGTFSデータを活用した情報発信を行い来訪者の利用促進を図る。特に次年度は瀬戸内国際芸術祭が開催されることから、複数の交通事業者間で使用できる共通乗車券の発行など、来訪者が利用しやすい取り組み、情報提供に努める。</li> <li>無料キャンペーンを引き続き行い利用者の拡大を図る。</li> </ul>

<p>琴参バス(株)</p>	<p>綾歌宇多津線 綾歌市民総合センター～郡家 郵便局～宇多津駅南口</p> <p>計画運行日数 366日 計画運行回数 2,308回</p>	<p>&lt;前回の評価結果の概要&gt; 利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。</p> <p>&lt;評価結果の反映状況&gt; ・利用状況により経路の見直しを行い効率性の向上を図った。(令和6年10月～) ・75歳以上の高齢者、毎月20日の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った。(令和5年6月～)。 ・市内の小学校においてモビリティマネジメント教育を実施し、新規利用者の掘り起こしや啓発活動を行った。 ・丸亀垂水線(幹線バス)との接続については、乗換を考慮したダイヤとしている。</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p>	<p>【目標達成率】124.2% (目標:42,160人/年) 【利用者数】52,365人/年 (対前年比:112.1%) (対前々年比:144.8%) 【1便あたり利用者数】22.7人 【収支率】20.7% (対前年比+2.8%) (対前々年比+6.2%)</p> <p>運賃無料キャンペーンの実施により目標利用者数の達成し、前年、前々年より増加した。また、燃料の高騰や物価上昇の影響もあったが、収支率の改善もできた。</p>	<p>・クーポン付き乗車券の発行や丸亀市と連携しサイクルアンドバスライドの導入など、ターゲットを絞った更なる利用促進事業に取り組む。 ・引き続きバスロケーションシステムの乗降センサーを活用し路線運行の効率化を検討していきたい。 ・GTFS-JPにてオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。 ・無料キャンペーンを引き続き行い利用者の拡大を図る。 ・瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせ複数事業者間で使用できる共通乗車券の発行など来訪者が円滑に移動できるよう努める。 ・分かりやすい時刻表やHPの作成、モビリティマネジメント教育を通して誰もが利用しやすい環境整備に努める。</p>
----------------	---	---	----------	-------------------------	----------	--	---

<p>琴参バス(株)</p>	<p>丸亀東線 三谷団地前～飯山市民総合センター～宇多津駅北口</p> <p>計画運行日数 366日 計画運行回数 2,308回</p>	<p>&lt;前回の評価結果の概要&gt; 利用者のニーズの集約と乗降センサーを活用した利用状況により、効率的かつ利便性の向上に向けた運行を検討する。</p> <p>&lt;評価結果の反映状況&gt; ・利用状況により経路の見直しを行い効率性の向上を図った。(令和6年10月～) ・75歳以上の高齢者、毎月20日の運賃無料キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図った。(令和5年6月～)。 ・市内の小学校においてモビリティマネジメント教育を実施し、新規利用者の掘り起こしや啓発活動を行った。 ・レオマ宇多津線(幹線バス)との接続については、乗換を考慮したダイヤとしている。</p>	<p>A</p>	<p>計画通り事業は適切に実施された。</p>	<p>A</p>	<p>【目標達成率】143.5% (目標:32,370人/年) 【利用者数】46,478人/年 (対前年比:105.4%) (対前々年比:150.3%) 【1便あたり利用者数】20.0人 【収支率】18.5% (対前年比+1.5%) (対前々年比+5.5%)</p> <p>運賃無料キャンペーンの実施により目標利用者数の達成し、前年、前々年より増加した。また、燃料の高騰や物価上昇の影響もあったが、収支率の改善もできた。</p>	<p>・クーポン付き乗車券の発行や丸亀市と連携しサイクルアンドバスライドの導入など、ターゲットを絞った更なる利用促進事業に取り組む。 ・引き続きバスロケーションシステムの乗降センサーを活用し路線運行の効率化を検討していきたい。 ・GTFS-JPにてオープンデータ化に取り組み情報発信に努める。 ・無料キャンペーンを引き続き行い利用者の拡大を図る。 ・瀬戸内国際芸術祭の開催に合わせ複数事業者間で使用できる共通乗車券の発行など来訪者が円滑に移動できるよう努める。 ・分かりやすい時刻表やHPの作成、モビリティマネジメント教育を通して誰もが利用しやすい環境整備に努める。</p>
----------------	--	---	----------	-------------------------	----------	--	---